

科目名：人文社会科学特別講義／ Humanities and Social Sciences (Special lecture)

曜日・講時：後期集中 文学研究科棟 4F 416 講義室

セメスター：集中 (6), 単位数：1

担当教員：尾崎彰宏 (教授)

使用言語：英語

1. 授業題目：

トランスカルチュラル研究とは何か？

2. Course Title (授業題目)：

What is the Transcultural Studies? : Exploring the New Comparative Research Methodology.

3. 授業の目的と概要：

ヨーロッパにおける日本研究の第一人者であるハイデルベルク大学のハラルド・フース教授が、その方法論の骨格をなす Transcultural Studies について具体的な事例を挙げて解説する。この英語による講義を通して、受講生は、異文化の比較研究のメソドロジーについて学ぶことができる。

4. 学習の到達目標：

ヨーロッパと日本に関する比較文化研究の最前線を理解すると同時に、日本学に求められる課題を捉えることができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- (1) イントロダクション：トランスカルチュラル研究とは何であるのか。それが求められている状況について概観する。
- (2) キューバを事例としてとりあげ、文化の複雑な変成 (complex transmutations) について検討する。
- (3) Transculturation と Acculturation を対比させ、文化変容の創造性について検討する。
- (4) Transculturation と Post-Colonial Theory
- (5) 移民とグローバル化に曝されるドイツ文化
- (6) 文化移動から文化変容へ
- (7) ハイデルベルク大学におけるトランスカルチュラル研究の現在
- (8) エピローグ：トランスカルチュラル研究と日本

6. 成績評価方法：

出席 70% 試験 30%

7. 教科書および参考書：

授業において必要に応じて配布する。

8. 授業時間外学習：

授業において指示する。

9. その他：